

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第5部門第2区分  
 【発行日】平成27年10月15日(2015.10.15)

【公表番号】特表2015-500961(P2015-500961A)  
 【公表日】平成27年1月8日(2015.1.8)  
 【年通号数】公開・登録公報2015-002  
 【出願番号】特願2014-544976(P2014-544976)  
 【国際特許分類】

F 1 6 G 1/08 (2006.01)  
 C 0 8 L 21/00 (2006.01)  
 C 0 8 K 7/02 (2006.01)

【F I】

F 1 6 G 1/08 C  
 C 0 8 L 21/00  
 C 0 8 K 7/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年8月20日(2015.8.20)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0057

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0057】

表10に示した第3の配合に基づいて、一連の実施例を評価した。第3シリーズのベースエラストマーはポリクロロプレン(CR)であった。コントロール配合物である比較例8は、エラストマー100重量部当たりアラミド繊維9重量部を含有していた。アラミド繊維は、テイジンアラミドによってTwaronの商標で販売されている、1mmにカットされた繊維Twaron(登録商標)パラ系アラミド繊維であった。本発明の実施例9-12は、アラミド繊維より少ない量で、重量で、アラミド繊維に対するケナフの置換比約3:2で置換するケナフ繊維の様々な量を含んでいる。ケナフはProcotex社から入手した。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0058

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0058】

【表10】

処方(PHR)	比較例8	実施例9	実施例10	実施例11	実施例12
CRエラストマー <sup>1</sup>	100	100	100	100	100
アラミド繊維(1mmカット)	9.0	7.0	5.0	3.0	0
ケナフ繊維(2mm刻み)	0-	3.0	6.0	9.0	13.0

<sup>1</sup>CR配合物は、充填剤、硬化剤等の通常の配合剤の取り合わせを含む。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0059

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0059】

配合物のレオロジー特性及び硬化特性は前述のように評価され、その結果を表11に示す。比較例8の中のアラミド繊維をケナフ繊維で置換した結果、配合物のムーニー粘度(MV)の低下がもたらされたが、表4の結果によって示されたような、使用されるケナフの充填量の増加及びより長い繊維長に照らせば驚くべきことである。スコーチ時間(t5)はアラミドをケナフに置換することにより幾分増加する。硬化特性はMHやトルク差(MH-ML)の増加を示し、コントロールのアラミドよりケナフからのより多くの補強を示しているが、それはコントロールの場合より長い繊維長およびより高い充填量によることができると述べている。ケナフの例において、配合物の硬化時間はコントロールと比較して増加した。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0060

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0060】

表12は、CR組成物中のアラミドをケナフに置換したことによる硬化した配合物の物性を示している。硬度和引裂強度の結果は、全て互いに匹敵した。粒度及び板目方向の引張試験結果は、最も多く加えた実施例12を除いて同等だった。実施例12の強度と弾性率特性は、予想されるよりも低いようだ。別の観点から、実施例9-10の物理的特性は予想よりも高いと述べている。これは実施例9-11の2種類の繊維の間の相乗作用を示すことができるものである。なぜなら繊維の混合物を有する実施例9-11は、1種類の繊維しか有さない比較例8か又は実施例12のどちらよりも高い特性を有していたからである。表12はまた、引張試験の結果と同じ傾向を示すように見えるPico摩耗指数の結果を示す。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0063

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0063】

【表 1 2】

物理的性質	比較例 8	実施例 9	実施例 1 0	実施例 1 1	実施例 1 2
ショア A 硬度	88	89	90	90	88
引裂強度 (l b s / i n)					
T e a r - W G	310	340	320	300	310
T e a r - X G	180	190	200	195	180
引張試験					
引張強度 (W G) (p s i)	3216	3541	3270	3091	2728
伸び (W G) (%)	13	14	12	15	15
5%弾性率 (W G) (p s i)	1664	1818	1849	1743	1388
1 0%弾性率 (W G) (p s i)	2920	3196	3056	2796	2355
2 0%弾性率 (W G) (p s i)	-	-	-	-	1314
引張強度 (X G) (p s i)	1570	1700	1729	1630	1612
伸び (X G) (%)	62	74	65	68	97
5%弾性率 (X G) (p s i)	301	305	400	358	292
1 0%弾性率 (X G) (p s i)	509	504	685	609	521
2 0%弾性率 (X G) (p s i)	863	824	1089	993	791
P I C O 摩耗指数	61	71	65	70	62